

第11回アートセミナー開催のお知らせ

木枯らしが吹く季節となってまいりました。

さて照明家にとって知っておかなければならない、芸術の部分についての研修会が必要で有るという事で、始まったアートセミナーは、これまでミュージカルやバレエ、日本舞踊など舞台上で上演されるものの各分野の専門家から改めてその本当の姿について講演していただきました。

今回も昨年に引き続き、関西だけでなく全国で活躍されている照明デザイナー原中治美氏、松浦真也氏をお迎えしてお話をお聞きする事となりました。オペラ、バレエ等で照明デザイナーが何を考え、どんな仕事をしているかについて、映像も交えて御講演していただきます。昨年同様、ふるって御参加下さい。

第11回アートセミナー

テーマ “デザイナーの頭の中と手順見せます。パート3”

講師 原中 治美 氏 松浦 真也 氏

日時：2020年1月28日(火)

12:30受付 13:00~16:45 セミナー

17:30~19:00 懇談会(会場移動予定)

会場：ドーンセンター(大阪府立男女共同参画・青少年センター) 5階 視聴覚スタジオ

交通：京阪「天満橋」駅, Osaka Metro(旧大阪市営地下鉄)谷町線「天満橋」駅 ①番出入口から東へ350m。

JR東西線「大阪城北詰」駅下車。②号出口より土佐堀通り沿いに西へ約550m。

大阪シティバス「京阪東口」からすぐ。

セミナー参加費は無料です。懇談会は1,000円程度の参加費を予定しております。

お申し込みは下記の申し込み用紙を(公社)日本照明家協会関西支部事務局に1月21日までにFAXまたはE-mailにてお願いします。

FAX 050-1456-3773

E-mail kansai-shibu@jaled.or.jp

原中 治美氏 プロフィール

神奈川大学貿易学科を卒業後照明の世界に入り、その後関西で地道な仕事が認められ、現在は主にバレエ、オペラの作品に照明プランナーとして参加する。

1995年に関西歌劇団「リゴレット」で日本照明家協会優秀賞を受賞。

1999年に在イタリア日本総領事館後援の「夕鶴」公演での照明がイタリアのAs・Li・Coに認められて照明プランの依頼を受け2001年10月フランキーニ歌劇場他6歌劇場に於いて「蝶々夫人」を15公演行う。そのほかの海外でのオペラ公演にもプランナーとして参加し、好評を得る。加えてクラシックバレエ・コンテンポラリーダンス等の照明プランは、豊かな感性で創る明かりが振付家に好評であり信頼が厚い。

松浦 真也氏 プロフィール

大阪芸術大学放送学科卒業後、豊中市民会館にて10年間勤務。

その後、足立恒氏に師事。

1997年、「ライティングデザイン プループ」設立後、

関西を中心にクラシックバレエ、コンテンポラリーダンス等のデザインを手掛ける。

近年では深川秀夫氏、石井潤氏、島崎徹氏、などの著名な振付家との出会いによる各バレエ団公演の実績が認められ名古屋、高知、札幌からデザインを依頼される。

ベルギー王立ロイヤル・フランダース・バレエ団、台湾国立台北芸術大学での公演の経験をいかし照明デザイナーの地位向上と普及に務める。

2011年、松岡伶子バレエ団アトリエ公演「カルミナ・ブルーナ」にて、日本照明家協会審査委員最優秀賞を受賞。

第11回 アートセミナー 申込書

2020年1月28日開催のアートセミナーに参加します。

なお懇談会は未成年の方の参加はご遠慮下さい。

氏名	所属	連絡先	懇談会参加